

高見澤 正さんが紺綬褒章を受章



▲(左から) 山村町長、高見澤さん

令和3年4月に将来のまちづくりのためとして、町に1,000万円のご寄附をいただいたことに対し、坂城町名誉町民でもある高見澤正さんが紺綬褒章を受章されました。

高見澤さんは、昭和45年にデイリーフーズ株式会社を設立され、果実加工品の製造販売の第一線において、活躍されています。また、永年にわたりまちづくりや産業、教育文化の振興などに対し、多額の私財をご寄附いただき、いただいた寄附金は、さまざまな町の施策に活用させていただいています。

8月15日(月)、坂城テクノセンターで「第67回 坂城町二十歳のつどい」が開催されました。

これは今まで、「坂城町成人式」として行っていたものですが、2022年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことから、「二十歳のつどい」と呼称を改めて行われました。

町内では、平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれまでの145名が20歳を迎えており、そのうち82名の皆さんが式典に出席されました。



Happy 20years old

「第67回 二十歳のつどい」が行われました



式典が始まる前の受付では、数年ぶりの仲間との再会に、お互いに大人になった姿を褒め合ったり、懐かしんだりして、嬉しそうに写真を撮っていました。

式典では、まず、戦没者の方々への追悼と世界の平和を祈るため黙祷が行われ、その後、二十歳のつどい実行委員会代表の宮崎洋輔さんがあいさつしたほか、中学校時代の担任の先生からお祝いの言葉が贈られました。

20歳！おめでとうございます！！